

春母夏母秋母冬母

作 糸井幸之介

ナイスミデイとナイスミドル、二人の俳優による、妙ージカル(妙なミュージカル)

二人が演じる登場人物

女 こなご、ママ、ジロ、語り部、スナックのママ

男 ユキユキ、お母さん、警察、タロ

暗闇。

ピンスポットの明かりが、劇場空間をゆつくり動いている。

色々な遊具が順番に照らし出される。小さな公園だ。よく見るとそれらの遊具は、所々、蛸の足のように絡み合っている。

ピンスポットの明かりが、一人の少女を照らし出す。少女も、滑り台の階段に脚を蛸のように絡めている。少女は手に缶コーヒーを一つ持っている。

少女は滑り台の階段を上る。ピンスポットの明かりが少女を追う。滑り台の上には、少年が身を屈めて座っている。

少女は少年の目の前に小さくなって座る。手にしていた缶コーヒーを差し出す。少年は少女の手の上から缶コーヒーを握る。

小さな公園全体がうつすらと明るくなる。深夜。少女の名は、こなこ。少年の名は、ユキユキ。

ユキユキ ごめんね。買いに行かせて。

こなこ いいよ、いいよ。お金ないんだし。

ユキユキ オレ、小遣いすぐ使っちゃうから。

こなこ なにに使っちゃうの？

ユキユキ ん、CD買ったちゃうの。

こなこ なんのCD？

ユキユキ え、きつと知らないよ。

こなこ ー教えてよ。

ユキユキ ねえ、こなこ。

こなこ なあに、ユキユキ。

ユキユキ コーヒー、あったかいね。

こなこ うん。あったかい。

二人、缶コーヒーを握っている。

こなこ なんのCD、買ったちゃうの？

ユキユキ ん、テクノ。

こなこ テクノって、ピコピコしてるやつ？

ユキユキ うん、色々あるけど、ピコピコしてるやつ。

こなこ 歌とかないの？

ユキユキ ほとんどない。

こなこ へー、退屈しない？

ユキユキ 全然。寧ろ、歌って、人の声って、退屈しちゃう。

こなこ そっかー、そうなんだー。

ユキユキ ねえ、こなこ。

こなこ なあに、ユキユキ。

ユキユキ コーヒー、あったかいね。

こなこ うん。あったかい。

二人、缶コーヒーを握っている。

こなこ じゃあ、あたしも、ピコピコ喋ろっかな。
ユキユキ え？

こなこ ピコ(あ)、ピコ(い)、ピコ(し)、ピコ(て)、ピコ(る)。さて、なんと言ったでしょう？
ユキユキ え、わかんないよ。

こなこ ピコ(あ)、ピコ(い)、ピコ(し)、ピコ(て)、ピコ(る)。

ユキユキ わかんないって、なに？

こなこ 秘密ー。

冷たい風が吹いている。

ユキユキ 寒いね。

こなこ ピコ(あ)。

ユキユキ また一段と、冷えてきた。

こなこ ピコ(い)。

ユキユキ 雪、降ってもおかしくない。

こなこ ピコ(し)。

ユキユキ 深夜って、氷河期なんだ。

こなこ ピコ(て)。

ユキユキ 短い、氷河期なんだ。

こなこ ピコ(る)。

冷たい風が吹いている。

こなこ ユキユキのお母さんは、夜遅くてもへーき？

ユキユキ うちのオカンは、放任主義。

こなこ かつこいー。男の子だしね。

ユキユキ こなこのお母さんは？

こなこ 夜、仕事してるからへーき。

ユキユキ こなこ、お母さんのこと好き？

こなこ うん。だーい好き。

ユキユキ オレと、どっちが好き？

こなこ えーわかんないよ。どっちも好き。

ユキユキ どっち？ちよつとの差でも、差、あるでしょ？どっちが好き？

こなこ えー、わかんないけど、多分、ユキユキより、お母さんの方が、あたしのこと好き。

ユキユキ うっそー！？オレ、世界一なのに、世界一こなこのこと好きなのに……

こなこ うん。多分、わかんないけど。

ユキユキ オレ、こなこのお母さん、殺しちゃうかもしんない。

こなこ へ？

ユキユキ こなこのこと世界一好きでいたいから、こなこのお母さん、殺しちゃうかもしんない。

こなこ うふふ。ユキユキ、嬉しー。

ユキユキ ねえ、こなこ。

こなこ なあに、ユキユキ。

ユキユキ コーヒー、冷たくなつちやつたね。

こな こうん。アイスコーヒーになっちゃった。

こな、突然立ち上がり、缶コーヒーを開けて、飲む。グビグビ、飲む。

音楽。歪んだ電子音が、パイプオルガンのように鳴り響く。

銀世界紀行 Pt.1

こな、一気に缶コーヒーを飲み干す。(空き缶は滑り台の上、邪魔にならない所に残される)

こな ちよー冷たい！ちよーアイス！ちよーアイス！

ユキユキ (立ち上がり) オレも、ちよーアイス！こなこのこと、ちよーアイス！

こな ヌキユキのこと、ちよーアイス！

こな ヌキユキ アイス！アイス！ちよーアイス！

二人、抱き合う。滑り台に雪が降り始める。

こな ヌキユキ、雪よ！

ユキユキ こな、雪だ！

こな 祝福の雪よ！

ユキユキ もっと降りやがれ！もっと降りやがれ！

こな アイスな銀世界！

ユキユキ こな、犬糞に乗って旅に出ようぜ！

こな タロ？ジロ？

ユキユキ しつかり掴まれよ。

こな きゃん。

ユキユキ 走れ、タロ！ジロ！（鞭を打つ動作）

こな わー、猛吹雪が頬っぺたをズツ！

ユキユキ 氷河期、きたんだ！

こな 睫毛が、凍る！鼻水も、シャーベット！

ユキユキ 氷河期、きたんだ！

こな このまま、肉も、骨も、血も、凍っても、あたしの心、凍らない！

ユキユキ こな、おしっこはだいじょうぶ？アイスコーヒー、たくさん飲んだけど、おしっこはだいじょうぶ？

こな おしっこも、シャーベット！

ユキユキ コーヒーシャーベットさ！

遠くの方から、鈴の音が聞こえる。

こな ねえ、ユキユキ、なんか聞こえる？シヤン シヤン シヤン……

ユキユキ 鈴の音？

こな サンタさんかな？

ユキユキ もう2月だよ？

こな サンタさんも橇かな？

ユキユキ サンタクロースはトナカイだ！

鈴の音、近づく。

こなこ 迫ってきます！サンタさん、迫ってきます！

ユキユキ トナカイに、負けんな、タロ！ジロ！（鞭を打つ動作）

こなこ 頑張れ、タロ！ジロ！あつ！？サンタさん、並んだ！

ユキユキ サンタクロース、デッドヒート！

こなこ トウインクルレース！

ユキユキ オレたちの櫓は、そう、逃げるように、追いかけるように……

こなこ

あー 離れたくないな

朝も 昼も 夜も 春も 夏も 秋も 冬も

ユキユキ

あー 離れたくないよ

しわくちやなお爺さんになっても

こなこ・ユキユキ

悴む 手の 指先

身体から 離れてく

何処まで行くの？

あなたの心へ

何処までも 白い 地面

何処までも 黒い 空

銀世界紀行

宇宙の果てまで

シヤン シヤン シヤン……

Ah……（二人、滑り台を滑る）

音楽終了。

ある日の昼下がりに。こなこと、お母さん、街角を歩いている。

こなこ お母さん、あったかいね。

お母さん 暑いくらいよ。

こなこ うん。

お母さん 晴れて良かったね。

こなこ うん。

お母さん こなこも、もう中学生か。

こなこ そうだね。

お母さん はー疲れた。お母さん、やっぱり学校って苦手。集団で、体育館並んで、収容所みたいじゃない。息詰まんのだよ。大人になって良かったわ。

こなこ ふうん。

お母さん 校長先生？話し、長かったー。

こなこ お母さん、あのさ、入学式、来てくれてありがとう。

お母さん 当たり前でしょ、娘の晴れの日なんだから。

こなこうん。

お母さん お父さんにも連絡したんだけどね。
こなこうん。

お母さん あの人、卒業式も来なかったでしょ。入学式は来るかと思ったけど。
こなこうんに、ほとんど、小学校と変わってないし。

お母さん 変わったよ。ランドセルじゃないし、制服だし。

こなこうん。

お母さん じゃあ、お母さん仕事行くから。夜ごはん、これでお弁当でも買ってね。

こなこうん。

お母さん ちゃんとサラダも買いなさいよ。

こなこうんはーい。

お母さん こなこうんも中学生だし、そろそろ塾とか行かなきゃね。

こなこうん。

お母さん お母さん、働くわよー。

こなこうんはーい。

お母さん じゃあ、行ってくるね。

こなこうん バイバイ。

お母さん バイバイ。

お母さん、立ち去ろうとして、振り返る。

お母さん あ、こなこうん、入学おめでとうね！

音楽。緩やかなリズム。優しい旋律。

Workingwoman's Blues

その日の深夜。こなこうん、家で寝ている。酔っ払ったお母さん、住宅街を歩いている。電燈に誘われるように、公園のベンチに腰掛ける。

お母さん はー疲れた。疲れたっていうか、飲みすぎた。あのお客さん、ベタベタ触ってくるし、飲ませるし。うっ、気持ちわり。(吐く)○△□○△□○△□……あー、公園の地面、汚しちゃった。まあ、いっか、カラスの朝ごはん。地球に還元。あたしはいっただって、身も心も地球に還元。(唾を)ペッ、ペッ……うー、水飲みたい。水道。あれ、最近の公園って、水道ないの？まあ、いっか……こなこうんは、寝たかな？そりゃ寝たよ。何時だと思ってるのよ。ん？何時？今何時？ファット タイム イズイット ナウ……眠ー……今朝、早起きだったし、入学式で。こなこうんも、もう、中学、ムニヤムニヤ……あ、こんなところで寝たら、襲われちゃう。痴漢に、熟女が、襲われちゃう……誰が熟女よ……失礼ね……まだ三十代よ……ぎりぎり……

お母さん、フラフラと歩き出す。

お母さんへ

おまえバカだから

考えた方がいいよ

今までの人生

何度か言われた 男に
あーあ 男に あー……

お母さん、家に帰る。

お母さん 小さな声で、ただいま……かわいい娘の寝顔を見る前に、水、飲もーつと。蛇口、ひねって、まず、うがい。口の中、ゲロ臭いからねー。(笑い声)ケラケラ……(うがい)ゴロゴロ……

「こな「ん」」と寝返り。

お母さん ゴロゴロ……ベッ。(水を飲む)ゴクゴクゴク……はー、うめー。メイク落としは、いつか。歯磨きも、いつか。こなこの布団に入っちゃおう。いやん、こなこちゃん、そっぽ向いてる。お母さんのこと嫌いになっちゃった？こっち向いてー。神様、こなこがこっち向いてくれますように……

「こな「ん」」と寝返り。お母さんの方を向く。

お母さん わー、こっち向いたー？神様、いた！？かわいい。頭、撫でちゃおう。そーつと、よしよし……こなこも、もう中学生か。ついこの間、赤ちゃんだったのに。よしよし……ぎゅーしちやおつかな。そーつと、ぎゅー……酔っ払いが、ごめんね。ぎゅー……

お母さんへ

心が火の粉被って

アチチと振り払って

今日まで生きてきたんだ

神様だつてきつとどっかいんだよ

胸に手をあてて祈って

乾いた目、閉じて眠って

髪の毛染めてみたつて

ランジェリー買ってみたつて

全然、気分、晴れねえよ

そんなことばっか言ってたつて 明日も

誰かにすぐときめいちゃつて

優しくされりや舞い上っちゃつて

別の日の深夜。お母さん、住宅街を歩いている。こなこ、布団の上に座っている。

こなこ なんか、寝れない。授業中はあるな眠かったのに。暑い……ちよつと、クーラーつけちゃおうかな？もつたいたい。扇風機にしとこう。(扇風機のスイッチを押し)ふー、気持ちい。もう夏だ……運動不足かな？運動不足で、眠れないのかな？運動部入れば良かったかな？料理部入っちゃったし。料理は上達してきた。今夜は青椒肉絲作つたし。毎日お弁当じゃ、飽きちゃうもん。(扇風機に向かつて喋る)つ、ま、ん、な、い、な……さ、び、し、い、な……あはは。つまらないとさびしいつて、二つで一つかな？つまないけどさびしくないとか、楽しいけどさびしいつてあんのかな？楽しくてさびしくないのがいいな。そんな人いんのか

な？みんなさびしいのかな？（扇風機に向かって喋る）お、か、あ、さ、ん……お、と、う、さ、ん……

お母さん、家に帰る。

お母さん 小さな声で、ただいま……

こなこ あ、お母さん、おかえり。

お母さん あら、こなこ、起きてたの？

こなこ うん。（扇風機に向かって喋る）な、ん、か、ね、れ、な、く、て……

お母さん あはは、宇宙人？

お母さんも扇風機に当たる。

お母さん ふー、気持ちー。

こなこ もう夏だね。

お母さん そうね。

お母さん、顔を洗う。

こなこ お母さん、今日は早かったね。

お母さん お客さん全然来なくて、早く帰されちゃったの。

こなこ あ、青椒肉絲作ったから食べて。

お母さん うん。ありがとう。明日いただくね。

こなこ 美味しくできたよ。

お母さん そう。楽しみ。

お母さん、歯を磨く。

お母さん こなこ、もう寝なさいよ。

こなこ うん。

お母さん 今日は、勉強した？

こなこ ン、ちよつとね。

お母さん ちよつとじゃダメじゃない。もうすぐ期末テストでしょ。

こなこ うん。

お母さん （うがい）ゴロゴロゴロゴロ……へっ。

こなこ お母さん、今日はあんま酔ってないね。

お母さん え、なんで？

こなこ ちゃんとメイク落としたし、歯磨いたし。

お母さん そうね、お客さん少なかったから。

こなこ 嬉しー。

お母さん えー、お母さん、いつもそんな酔ってる？

こなこ うん。

お母さん こなこ寝てるじゃない。

こなこ 寝てもわかるよ。お母さん帰ってきたのも、酔ってるのも。

お母さん ふーん、そう。

こなこ うん。

お母さん さあ、寝ましよ、寝ましよ。

こなこ お母さん、一緒に寝よう。
お母さん え、いいわよ。

二人、一緒の布団に入る。

こなこ ねえ、お母さん。

お母さん ん？

こなこ ぎゅーしよう。

お母さん いいわよ。ぎゅー……

こなこ ぎゅー……

お母さん ぎゅー……

お母さん^へ

心が火の粉被って

アチチと振り払って

今日まで生きてきたんだ

神様だつてきつとどっかいんだよ

胸に手をあてて祈って

乾いた目、閉じて眠って

髪の毛染めてみたつて

ランジェリー買ってみたつて

全然、気分、晴れねえよ

そんなことばつか言つてたつて 明日も

誰かにすぐときめいちやつて

優しくされりや舞い上つちやつて

別の日の深夜。酔っ払つたお母さん、上機嫌で住宅街を歩いている。こなこ、勉強をしている。

こなこ ふー……スラスラ解けちゃう。あたし、ちよー理解してる。スラスラ……スラスラつて、擬態語。あたしつて頭良かったんだー。夏休み、塾行きでしたら、成績上がってます！スラスラ……ふー……お母さん遅いな。最近遅いよな。明るくなつてから帰つてくること多いし……スラスラ……スラスラ……すやすや……(寝る)

お母さん、家に帰る。

お母さん 小さな声で、ただいまー！どこが小さな声よ！ねえ、こーなこー！おきて！

こなこん……あ、お母さん、おかえり……どうしたの？

お母さん こなこに報告したいことがあります。

こなこ え……なに？

お母さん お母さん、恋人ができました！

こなこ えー……誰？どんな人？

お母さん スナックの常連さんで、45歳。バツイチ。子供は二人、親権は奥さんの方。あ、奥さんつていうか、元奥さんね。運送会社の社長さんで、身長171センチ。がつちりタイプ。好きな食べ物は蕎麦と寿司。チャームポイントは目尻の小皺で、笑うと大黒様みたい。

こなこ 大黒様？

お母さん 七福神の、打ち出の小槌持つてる。

こなこ へー。

お母さん とにかく、笑うとすぐくかわいいの。目尻の小皺もかわいいんだけど、八重歯もかわいい。右側だけ、あだしから見えてね、右側だけ尖ってるの。

こなこ ふーん。あ、お母さん。

お母さん ん？

こなこ オクラのおひたしと、秋刀魚の干物焼いたから食べて。

お母さん あ、うん、明日ね。それでね、仕事の、前とか、後も、ご飯連れてってくれたり、お蕎麦とか、お寿司とか、美味しいお店たくさん知ってるのよ。

こなこ だからか。

お母さん ん？

こなこ だからお母さん最近帰り遅いんだ。

お母さん え？そう？まあ、それもあるかもしれないけど、とにかくさ、今度、こなこも、美味しいお店連れてつてもらおう！

こなこ お母さん。あたし、そろそろ、眠いかも。

お母さん えー、もうちよつと聞いてよー。

こなこ うん……

お母さん では、問題です。お母さんたちは、どのように、付き合うことになったでしょうか？

こなこ 知らないよー。

お母さん 正解は、タクシーでキスされたでしたー！ケラケラ……

こなこ もう、眠いー。

お母さん じゃあ、寝ていいから。お母さん添い寝して、お話ししてあげる。こなこがちっちゃな頃、絵本読んで寝かしつけてあげたみたいに、お母さんの恋物語で、寝かしつけてあげる。

こなこ なにそれーうるさいでしょ。

お母さん うるさくない、うるさくない。ちっちゃい声で、ゆっくり、話します。

こなこ もう……

一人、一緒の布団に入る。こなこ、お母さんに背を向ける。お母さんは、ちっちゃい声で、ゆっくり、話し始める。

お母さん 王子様に急にキスをされたので、お姫様はびっくりしてしまいました。びっくりして泣き出してしまいました。慌てた王子様は、「大丈夫？大丈夫？ごめんね。」と言いました。「いいえ、王子様。悲しくて泣いているではありません。嬉しくて泣いているのです。」お姫様は言いました。気がつくと、馬車はお城の前までやって来ました。キラキラと輝く、夢のようなお城です。二人は馬車を降り、寄り添いながら、お城の中へと消えて行きました。なんちゃつてー。ケラケラ……こなこ、寝た？

お母さん、こなこに背を向けて、目を閉じる。

別の日の深夜。お母さん、住宅街を歩いている。こなこ、電話をしている。

こなこ ユキユキは、宿題やった？塾の……うん。お風呂も入ったし、あとは寝るだけ……うち、夜、誰もいないから、お風呂怖いんだよ……そうそう、シャンプー、シャンプーが怖い

……窓？あるよ……ユキユキ月見てんの？うん……あ、見える！こちらからも見えます！
真ん丸だね……え？チュー シュー ノ メー ゲツ？

お母さん、家に帰る。

お母さん 小さな声で、ただいま……

こなこ あつ、お母さん帰って来た、ごめん、切るね……うん、明日……

こなこ、電話を切る。

こなこ おかえり。

お母さん 電話？

こなこ あ、うん。

お母さん 誰？

こなこ え、友達。

お母さん こんな遅くに？

こなこ うん……

お母さん、顔を洗う。

お母さん あんまり長電話しないでね。

こなこ え、してないよ。

お母さん 電話代高いのよ、最近。

こなこ……

お母さん、歯を磨く。

こなこ 今日は、帰り早いね。

お母さん ……

こなこ 男の人とどっか行ってんのかと思った。

お母さん 早く帰って来ちゃ悪いの？

こなこ 別に。

こなこ、布団に入る。

お母さん (うがい)ゴロゴロゴロゴロ……へッ。

お母さん、布団に入る。

こなこ 別にいいじゃん。

お母さん え？

こなこ 何時間も一人なんだから、電話くらい。

お母さん いいけど、あんまり長くなければ……

こなこ 誰かと喋りたくなんの！誰もいないから誰かと喋りたくなんの！

お母さん ……

こなこ もういい……

お母さん ごめん……こなこ……ごめんね。

こなこ もういいって……もう寝る。
お母さん ごめんなさい……
こなこ うん……おやすみ。

お母さんへ

心が火の粉被って
アチチと振り払って
今日まで生きてきたんだ
神様だつてきつとどっかいんだよ
胸に手をあてて祈って
乾いた目、閉じて眠って

髪の毛染めてみたつて
ランジェリー買ってみたつて
全然、気分、晴れねえよ
そんなことばつか言つてたつて 明日も
誰かにすぐときめいちゃつて
優しくされりや舞い上つちゃつて

別の日の深夜。こなこ、家で寝ている。酔つ払つたお母さん、住宅街を歩いている。電燈に誘われるように、公園のベンチに腰掛ける。

お母さん はー疲れた。疲れたつていうか、飲みすぎた。うつ、気持ちわり。(吐く)○△□
○△□○△□……あー、公園の地面、汚しちゃつた。まあ、いつか、カラスの朝ごはん。地球に還元。あたしはいつだつて、身も心も地球に還元……こなこは、寝たかな？そりや寝たよ。何時だと思つてんのよ。ん？何時？今何時？ファット タイム イズイット ナウ……眠
ー……

お母さん、寝る。警察(お母さんと一人二役)が現れる。

警察 ちよつと、お母さん、こんな所で寝たら風邪引きますよ。

お母さん 誰がお母さんよ……

警察 (吐瀉物を見て)あー、吐いちゃつたんですか？

お母さん 地球に、還元よ……(寝る)

警察 だから、凍え死にますつて。

お母さん あんた、男？

警察 見りやわかるでしょ。

お母さん きゃー、襲われるー……男に、襲われる……

警察 襲いませぬ。警察です。

お母さん 警察？警察だつて、男じゃない……男はね、みんな、大っ嫌い……あたしのこと、大切にしてくれないから、男は、みんな、大嫌い……

警察 はいはい。お母さん、ご職業は？

お母さん ホステス……

こなこ、不意に目を覚まし、布団の上に座っている。

警察 ちゃんと帰れますか？

お母さん 帰れる帰れる……家、そこだし……かわいい娘が待ってます……

お母さん、フラフラと歩き出す。

こなこ

嗚呼 夜の闇を 蝙蝠みたいに
誰にも知られず 切り裂くんだ 切り裂くんだ……

お母さん

心が火の粉被って
アチチと振り払って
今日まで生きてきたんだ
神様だつてきつとどっかいんだよ
胸に手をあてて祈つて
乾いた目、閉じて眠つて

髪の毛染めてみたつて
ランジェリー買ってみたつて
全然、気分、晴れねえよ
そんなことばっか言つてたつて 明日も
誰かにすぐときめいちやつて
優しくされりゃ舞い上つちやつて

こなこ、布団に入る。

お母さん

おまえバカだから
考えた方がいいよ

これからも人生
続くんだから 死ぬまで
あーあ 死ぬまで あー……

音楽終了。お母さん、家に帰る。

お母さん 小さな声で、ただいま……

小さな公園全体がうつすらと明るくなる。深夜。その続き。

こなこ、ジャンブルジムに脚を蛸のように絡めている。ユキユキ、傍にいる。

こなこ ねえ、ユキユキ。

ユキユキ なあに、こなこ。

こなこ ユキユキは、お母さんのこと、なんて呼んでる？
ユキユキ ン、中学から、オカン。

溶暗

こなこ 小学校までは？
ユキユキ ん……ママ。
こなこ かわいー！オカンよりママがいいよ！
ユキユキ マジ、恥いし。
こなこ なんてーかわいいのに。
ユキユキ マジ、恥いし。
こなこ ユキユキの、ママは、どんな人？
ユキユキ うちのオカンは、放任主義。
こなこ それから？
ユキユキ 5歳まで、おっぱいくれた。
こなこ 長ー！？ママのおっぱい覚えてる？
ユキユキ マジ、恥いし。
こなこ ユキユキ、おっぱい星人だ！？
ユキユキ いや、オレは5歳で、自らの意思で、おっぱいを絶った。普通なら、まだおっぱい飲みたいのに、色んな都合で飲ませてもらえなくなるから、未練が残る。だけどオレは、自らの意思で、おっぱいを絶ったから、未練はない。したがって、おっぱい星人ではない。
こなこ じゃあ、あたしの、おっぱいも、興味ない？
ユキユキ えっ！？
こなこ 見たい？

ユキユキ、頷く。こなこ、洋服の隙間から、おっぱいを見せる。

音楽。歪んだ電子音が、パイプオルガンのように鳴り響く。

銀世界紀行 Pt.2

こなこ 寒ー、胸元に風が吹き込む……
ユキユキ 暗くて……見えない。

ユキユキ、電灯の明かりが、いい具合にこなこの胸元を照らす角度を探す。

ユキユキ 暗くて……
こなこ 齒、ガチガチする。
ユキユキ 暗くて……
こなこ 自分で動かさなくても、勝手にガチガチする。
ユキユキ 暗くて……
こなこ ガチガチガチガチ……
ユキユキ 暗くて……見え……見え……
こなこ ガチガチガチガチ……
ユキユキ 見え……見え……見えたー……！！

二人、抱き合う。ジャングルジムに雪が降り始める。

こなこ ユキユキ、雪よ！
ユキユキ こなこ、雪だ！
こなこ 祝福の雪よ！
ユキユキ もっと降りやがれ！もっと降りやがれ！

こなこ アイスな銀世界！

ユキユキ こなこ、ここに、イグルーを建てよう！

こなこ イグルー？

ユキユキ エスキモーの雪の家！

こなこ えゝ寒そー。

ユキユキ 雪の断熱性は凄いな！

こなこ 新築マイホーム！？

ユキユキ まず、鋸で、雪のブロックを切り出す！切り出したブロックをいくつも重ねて、ドームを作るんだ！

こなこ ガーン、大変そう！

二人、雪のブロックを切り出す作業。凄い勢いでブロックをいくつも切り出し、運んでは重ね、ドームの形にしていく。

ユキユキ あっち、持つて、こっち、運んで、そっち、押して、あっち、平行、こっち、斜め、そっち、垂直、あっち、こっち、そっち……

こなこ ユキユキ、人使い荒い〜！

ユキユキ あっち、こっち、そっち……ゼーハーゼーハー……

こなこ ゼーハーゼーハー……

ユキユキ 完成だ……完成した、こなこ！

こなこ 凄い……ほんとに新築マイホームだ！

二人、ジャングルジムをイグルーに見立てる。

こなこ 中、入ってもいい？

ユキユキ もちろん。

こなこ お邪魔します……おつ、中はだいぶあったかい。

ユキユキ 雪の断熱性は凄いな。

こなこ ユキユキつて、アウトドアな人なんだね。

ユキユキ 小さい頃、ボートイスカウト入ってたから。

こなこ 知らなかったー。

ユキユキ ここに換気用の小さな穴があるから、火を使って、暖も取れる。

こなこ でも、火はどうやっておこすの？

ユキユキ ン、ライター。内緒にしていたけど、オレ、たまに、煙草吸うんだ。

こなこ いやん、不良ー。

ユキユキ

あー 忘れたくないよ

朝も 昼も 夜も 春も 夏も 秋も 冬も

こなこ

あー 忘れたくないな

しわくちやなお婆さんになっても

ユキユキ・こなこ

悴む 手の 指先

身体から 離れてく

何処まで行くの？

あなたの心へ

何処までも 白い 地面
何処までも 黒い 空
銀世界紀行
宇宙の果てまで

シヤン シヤン シヤン……

Ah……(ユキユキ、ジャングルジムを登る)

音楽終了。

ある日の午前中。公園。ジャングルジムの上にユキユキがいる。ママが下で見ている。

ユキユキ ママー！見て！ボク、一人で登った！

ママ さすが私の息子！

ユキユキ ママより背が高くなったぞ！

ママ 高いところからの眺めはどうですか？

ユキユキ お空が、近い！

ママ 自分で下りれる？

ユキユキ うん！ママ、見えて！

ユキユキ、下りようとするが下を見て怖くなる。

ママ ヌキユキ、頑張れ！

ユキユキ うん！

ユキユキ、おそろおそろ、足を伸ばす。

ユキユキ うーん……うーん……ママ！届かない！

ユキユキ、泣きそうになる。

ママ ヌキユキ、諦めるな！

ユキユキ うーん……うーん……うえーん！（泣く）

ママ 頑張れ！

ユキユキ 頑張れない、高い、怖い、うえうえうえーん！

ママ ヌキユキ！下りたら、おっぱいあげるから！頑張れ！頑張れ！

ユキユキ、泣きながら下りる。

ユキユキ うえ……うえ……うえ……

ユキユキ、地面に到着。ママ、拍手。

ママ ヌキユキ！よく頑張った！よく頑張った！

ユキユキ うえーん！ママ、おっぱいーい！！

音楽。陽気でかわいい雰囲気。

Qmama

ユキユキ〜

ママママママ……

ママ〜

なあに、坊や？

ユキユキ〜

ママママママ……

ママ〜

どうしたの？

ユキユキ

Say Hello! 会いたかったよ お腹の中でずっと想像してた
思ってたより かなり かわいいんだねマイマミー

ママのお腹の中は とっても居心地が良かったよ

ホテルだったらスイートルーム 一泊25万キャッシュで

ABCDEFGHIJKLMNOP……Qmama

あなただけが オンリーユー 最初で最後のボクのママ

神様より偉大なボクのママ 唯一無二のスーパーウーマン

無人島であなたと二人 生きて行くのがボクの夢

ママ

なんの特徴もないある日 強いて言えば新緑の匂いに満ちた日
あたしっからこの子が生まれた あたしっからこの子が出てきた
超音波映像で初めて見たあなたの姿

人魂みたいに青白く ぼやけて 小さく揺れていた

つわりの頃、イライラしてたの 伝わっちゃったかな？

あんまり怒らない 大らかなマザーになりたい

あらためまして、こんにちは お腹の中ではお疲れ様でした。

外の世界はどうですか？ 天国ですか？ 地獄ですか？

ユキユキ〜

ママママママ……

ママ〜

なあに、坊や？

ユキユキ〜

ママママママ……

ママ〜

どうしたの？

ママ

本屋に溢れる育児本 色んなことが書いてある

日々、初めてのことばかり 頼りになるのは実家の母だけ
お陰様で母とは なんだか仲良くなった

思春期からのわだかまり 霧が晴れるように消えた
子供の頃からマイペース ぼーっと 空 ずーっと見てた

でも、近頃、慌ただしくつて 風に吹かれてお空も見えてない
そーっと寝かしつけて やーっと ぼーっとできる

と思ったのも束の間 また 夜泣き あやして 寝て また 夜泣き

ユキユキ

オギヤーオギヤーと泣くけれど ボクだつて泣きたい訳じゃない

どうした訳だか次から次へと 苦しみが襲ってくるんだ

これが人生というものなのか!?

でもボクにはママがいるから オギヤー!

ところで、お腹、空いてきた

ところで、心、寂しい、悲しい

ところで、おっぱい、まだですか?

右も左も栄養満点 不安吹き飛ばすエナジードリンク

ママ〜

晴れは晴れでも 晴れのち雨

雨は雨でも 雨のち曇り 曇りのち晴れ

ママ・ユキユキ〜

春は 春で ママのおっぱい

ユキユキ〜

飲みたいんだ

ママ〜

あ 飲みなさい

ママ・ユキユキ〜

夏は 夏で ママのおっぱい

ユキユキ〜

飲みたい

ママ〜

飲みなさい

ママ・ユキユキ〜

秋は 秋で ママのおっぱい

ユキユキ〜

飲みたいんだ

ママ〜

あ 飲みなさい

ママ・ユキユキ〜

冬は 冬で ママのおっぱい

ユキユキ〜

飲みたい

ママ〜
飲みなさい

ユキユキ〜
ママママママママ……
ママ〜
なあに、坊や？

ユキユキ〜
ママママママママ……
ママ〜
どうしたの？

別の日の午前中。二人、散歩をしている。

ママ 首も座って、ハイハイ、つたい歩きのお手々も離れ、あんよも上手になりました。今じゃ立派な二足歩行です。

ユキユキ、駆け出す。すぐ、転ぶ。

ユキユキ (泣く) うえ〜ん！
ママ あ〜、ユキユキ、だいじよぶ？
ユキユキ うえうえうえ〜ん！
ママ 走るのは、まだ、ちよつと難しかったね。
ユキユキ うえ……うえ……うえ……うえ……
ママ 怪我はないかな？ 痛い痛い飛んでけー。
ユキユキ ……

ママ お手々繋いで歩きましょう？
ユキユキ きやつ、きやつ。
ママ お、ユキユキ、葉っぱだよー。
ユキユキ ……っばー！……っばー！
ママ 葉っぱ。

ユキユキ ……っばー！は……っばー！
ママ ん！？ そうそう、葉っぱ！
ユキユキ は……っばー！はっばー！はっばー！
ママ わ〜凄い！ ユキユキ、喋った！
ユキユキ はっばー！はっばー！

ママ ユキユキ、ママは？ ママは言える？
ユキユキ パッパ！。パッパ！
ママ ん〜それは。パ。ママは？
ユキユキ ……んマ……んマ……
ママ あー惜しい……

ユキユキ ……んマ……ママ。
ママ え！？
ユキユキ ママー！ママー！
ママ わ〜ママって言った！
ユキユキ ママー！ママー！

ママ 感激……

二人、歩いている。

ユキユキ ママ！ママ！ママ！はっぱ！ママ！ママ！ママ！はっぱ！ママ！ママ！ママ！だ……
ママ え？

ユキユキ ……んだ……んだ……

ママ え、なに？なに？

ユキユキ ……んだ……だっ。

ママ 抱っこ！？抱っこして欲しいの？

ユキユキ だっ！だっ！ママ！だっ！

ママ ユキユキ、どんどん喋ってる！？抱っこね。抱っこしてあげましょう！

ママ、ユキユキを抱っこして歩く。

ユキユキ ママ！ママ！ママ！はっぱ！ママ！ママ！ママ！はっぱ！ママ！ママ！ママ！お……
ママ え？

ユキユキ ……んお……んお……

ママ え、なに？なに？

ユキユキ ……んお……おっぱい。

ユキユキ

ママママママ……

ママ

なあに、坊や？

ユキユキ

ママママママ……

ママ

どうしたの？

別の日の午前中。二人、散歩をしている。

ユキユキ あつという間に月日は流れ、ボク、だいたい日本語マスターしました。今じゃ立派な
イヤイヤ期です。

二人、公園に入る。

ママ よーし、今日も砂場でお山作ろう！

ユキユキ おやま、イヤイヤ！

ママ えー、お山にトンネル掘ろうよ。

ユキユキ トンネル、イヤイヤ！

ママ なんてー昨日はあんなにハマってたじゃない？

ユキユキ きょうはきょう、きょうはきょう！

ママ とほほ。

ユキユキ 砂場、イヤイヤ！

ママ じゃあ、ブランコする？

ユキユキ ブランコ、イヤイヤ！
ママ 滑り台は？

ユキユキ すべりだい、イヤイヤ！

ママ もーなんでもかんでもイヤイヤなんだから！じゃあどうしたいの？もう帰る？

ユキユキ イヤイヤ！イヤイヤ！

ママ だからー、なにがしたいのよ！

ユキユキ ……ジャ……ム……

ママ ん？

ユキユキ ……ジャングルジム……

ママ えー、ユキユキにはまだ早いでしょ、もうちよつとお兄さんになってからにしましょう。

ユキユキ イヤイヤ！イヤイヤ！

ユキユキ、ジャングルジムに近づく。

ママ もー、ママ知らないよ。

ユキユキ、ジャングルジムに登ろうとするが、一段目にすら登れない。

ユキユキ ママーママー！

ママ はいはい。

ママ、ユキユキの手を取り、登るのを補助する。一段登る。

ママ よし、一段登れた！

ユキユキ て、イヤイヤ！て、イヤイヤ！

ママ 手、離れたら落ちちゃうよ。

ユキユキ イヤイヤ！イヤイヤ！

ママ わかった。じゃあ、離すよ……

ママ、手を離す。ユキユキ、フラフラしている。

ママ あ……あ……あ……

ユキユキ、落下。

ママ あちゃー！

ユキユキ (泣く) うえーん！

ママ ユキユキ、だいじょうぶ？

ユキユキ うえーんうえーん！

ママ 怪我はない？痛い痛い飛んでけー。

ユキユキ うえ……うえ……うえ……

ママ よしよし……よしよし……おっぱい飲む？

ユキユキ ……うん。

ママ もう、おっぱいだけは、イヤイヤじゃないんだから。

ユキユキ おっぱい……

ママ はいはい……

ユキユキ

ABCDEFGHIJKLMN OP.....Qmama

あなただけが オンリーユー 最初で最後のボクのママ
ところで、おっばい まだですか？

右も左も栄養満点 不安吹き飛ばすエナジードリンク

ママ〜

晴れは晴れでも 晴れのち雨

雨は雨でも 雨のち曇り 曇りのち晴れ

ママ・ユキユキ〜

春は 春で ママのおっばい

ユキユキ〜

飲みたいんだ

ママ〜

あ 飲みなさい

ママ・ユキユキ〜

夏は 夏で ママのおっばい

ユキユキ〜

飲みたい

ママ〜

飲みなさい

ママ・ユキユキ〜

秋は 秋で ママのおっばい

ユキユキ〜

飲みたいんだ

ママ〜

あ 飲みなさい

ママ・ユキユキ〜

冬は 冬で ママのおっばい

ユキユキ〜

飲みたい

ママ〜

飲みなさい

グルグル回る 地球の上で

転ばず、この子 生きてけるかな？

神様 どうか お願いします

この子のこと 見守ってくださいな……！！

ユキユキ、滑り台の階段を上る。ママ、下で見守っている。ユキユキ、滑り台を滑る。ママ、ユキユキを抱きしめる。

ママ・ユキユキ〜

春は 春で ママのおっぱい
ユキユキ〜

飲みたいんだ

ママ〜

あ 飲みなさい

ママ・ユキユキ〜

夏は 夏で ママのおっぱい

ユキユキ〜

飲みたい

ママ〜

飲みなさい

ママ・ユキユキ〜

秋は 秋で ママのおっぱい

ユキユキ〜

飲みたいんだ

ママ〜

あ 飲みなさい

ママ・ユキユキ〜

冬は 冬で ママのおっぱい

ユキユキ〜

飲みたい

ママ〜

飲みなさい

ユキユキ〜

飲みたい

ママ〜

飲みなさい

ユキユキ〜

飲みたい

ママ〜

飲みなさい

ユキユキ〜

飲みたい

ママ〜

飲みなさい

ユキユキ〜

飲みたいののの 飲みたい!

飲みたい

ママ〜

飲みなさい

ユキユキ〜

飲みたい

ママ〜
飲みなさい
ユキユキ〜
飲みたい
ママ〜
飲みなさい
ユキユキ〜
飲みたい！
ののの飲みたい！

飲みたい
ママ〜
飲みなさい
ユキユキ〜
飲みたい
ママ〜
飲みなさい
ユキユキ〜
飲みたい
ママ〜
飲みなさい
ユキユキ〜
飲みたい
ののの！の！の！の！

飲みたい！
ママ〜
飲みなさい
ユキユキ〜
飲みたい！
ママ〜
飲みなさい
ユキユキ〜
飲みたい！
ママ〜
飲みなさい
ユキユキ〜
飲みたい！
飲みたい！の！の！の！の！の！の！

音楽終了。

別の日の夜。ユキユキ、なにやら神妙な面持ち。

ユキユキ ……ママ。
ママん？
ユキユキ おっぱいって、1歳とか、2歳まで？
ママんー、そうねー、だいたい、そうかもねー。どうして？
ユキユキ 幼稚園で、みんな言ってた。
ママ 今も飲んでるって、みんなに言ったの？

ユキユキ 言わないけど……ボク、変かな？
ママ 全然、ちーつとも変じゃないよ。

ユキユキ うん……
ママ ユキユキだって、飲むの、朝と夜だけになったし。
ユキユキ うん……

ママ それに、おっぱい、ほとんど出てないでしょ？

ユキユキ いや、出てる。ちゃんと、出てる。
ママ ほんと？

ユキユキ うん。

ママ ユキユキが、おっぱい欲しくなくなるまで、飲めばいいと思うよ。

ユキユキ うん……ママ。

ママ はい。

ユキユキ ボク……おっぱい……やめる。

ママ そうか。なんか、ちよつと、寂しいな……

ユキユキ え、どうして？

ママ あつ、なんでもない、なんでもない。

ユキユキ おっぱいはやめるけど、ずっと一緒だよ、ママ。

ママ ユキユキ……偉いなあ。ユキユキは、偉いなあ……

ママ、ユキユキを抱きしめる。二人、アカペラで絶唱。

ママ・ユキユキ

春は 春で ママのおっぱい

ユキユキ

飲みたいんだ

ママ

あ 飲みなさい

ママ・ユキユキ

夏は 夏で ママのおっぱい

ユキユキ

飲みたい

ママ

飲みなさい

ママ・ユキユキ

秋は 秋で ママのおっぱい

ユキユキ

飲みたいんだ

ママ

あ 飲みなさい

ママ・ユキユキ

冬は 冬で ママのおっぱい

ユキユキ

飲みたい

ママ

小さな公園全体がうつすらと明るくなる。深夜。その続きの続き。

ユキユキ、ブランコに乗っている。こなこ、傍にいる。

ユキユキ ねえ、こなこ。

こなこ なあに、ユキユキ。

ユキユキ 小学生の頃、ブランコ飛び流行らなかった？

こなこ 流行った流行った。思いつきり漕いで、飛ぶやつでしょ？

ユキユキ そうそう、どこまで飛べるか競争すんの。

こなこ あれ、今思うと結構危ないよね。

ユキユキ オレ、大怪我したことある。救急車で運ばれた。

こなこ えー！？

ユキユキ 飛びすぎて、ブランコの柵に頭ぶつけて。

こなこ うわあー……

ユキユキ 今も傷、残ってるよ。

こなこ え、どこどこ？

ユキユキ ん、この辺……

こなこ、ユキユキの後頭部を調べる。

ユキユキ ここ、禿げてるでしょ？

こなこ わ、ほんとだ……痛かった？

ユキユキ 死ぬかと思った、血だらけだし。

こなこ 泣いた？

ユキユキ もう、うわんうわん泣いた。

こなこ かわいそう……うわんうわん？

ユキユキ うん。うわんうわん……

こなこ、ユキユキの後頭部にキスをする。

音楽。歪んだ電子音が、パイプオルガンのように鳴り響く。

銀世界紀行 pt.3

こなこ へろ。へろ。へろ。へろ……

ユキユキ 傷を、舐めてくれるのかい！？

こなこ 二人はまるで 捨て猫みたい

ユキユキ だからおまえは 小猫の様な泣き声で

うなう Woo……

こなこ・ユキユキ I love you

二人、抱き合う。ブランコに雪が降り始める。

こなこ ユキユキ、雪よ！
ユキユキ こなこ、雪だ！
こなこ 祝福の雪よ！
ユキユキ もっと降りやがれ！もっと降りやがれ！
こなこ アイスな銀世界！
ユキユキ さあ、こなこもシーカヤックに乗って！
こなこ シーカヤック？
ユキユキ カヌーみたいな舟。海でアザラシを獲るんだ！

二人、ブランコをカヤックに見立てて乗り込む。

こなこ ユキユキ、アザラシ殺しちゃうの？
ユキユキ ああ。

こなこ かわいそう……

ユキユキ かわいそうだけど、貴重な食料だし、皮を剥けば衣服にもなる。脂肪は燃料にも使えるんだ。

こなこ でも……

ユキユキ タロとジロだって、お腹空かしてる。

こなこ そっか、そうだね……

ユキユキ さあ、漕ぎ出すぞ！

こなこ うわあ、海も凍ってる！

ユキユキ 投げ出されたらひとたまりもない！カヤックが転覆しても、そのまま素早く、クルツと起き上がるんだ！

転覆。

こなこ きゃー！

ユキユキ クルツ！エスキモーロール！

転覆。

こなこ きゃー！

ユキユキ クルツ！エスキモーロール！

こなこ あつ、アザラシだ！かわいい……

ユキユキ こなこ、残酷だから、目をつぶっていて！

こなこ うん……

ユキユキ こん棒で、殴り殺す！

ユキユキ、アザラシに襲い掛かる。

ユキユキ ○△□○△□○△□○△□！！

こなこ なむあみだぶつ……

ユキユキ ○△□○△□○△□○△□！！

こなこ なむあみだぶつ……

ユキユキ ○△□○△□○△□○△□……

こなこ

あー離れたくないな
朝も 昼も 夜も 春も 夏も 秋も 冬も
ユキユキ〜

あー離れたくないよ
しわくちやなお爺さんになつても

こなこ・ユキユキ〜

悴む 手の 指先

身体から 離れてく

何処まで行くの？

あなたの心へ

何処までも 白い 地面

何処までも 黒い 空

銀世界紀行

宇宙の果てまで

シヤン シヤン シヤン……

Ah……(二人、ブランコを漕いでいる)

音楽終了。

ある日。午後の病院。こなこ、お母さんが座る車椅子(ブランコ)を押している。

こなこ お母さん、調子はどう？

お母さん 切ったでしょ、お腹。切ったから痛い、切らなきゃよかった。

こなこ 切らなきゃ治らないでしょ。

お母さん あの先生、ヤブね。

こなこ もー。

お母さん だって不器用よ、手先、絶対。愛撫も下手なタイプね。頭だけよくて医者になったのよ。

こなこ あはは。でもちよつと、元気になつてホツとした。

お母さん ごめんね、こなこ。仕事だつて、休ませちゃつて。

こなこ へーきへーき。お母さん、お腹は空くの？

お母さん 全然、胃、三分の一になつちやつたし。

こなこ そうね。

お母さん 最高級のステーキを、ほんの一口だけ食べたい。

こなこ お、今度行こう。おごるおごる。

お母さん はー、疲れた。すぐ疲れちゃう。

こなこ しょうがないよ、体力落ちてんだから。

お母さん 起きてるだけで、眠たくなるわ。

こなこ 部屋戻る？

お母さん うん、寝る。やっぱ眠るのが一番ラク。

こなこ そうね。

お母さん でもこなこ、最近あたし思うのよ。死ぬのは、もしかしたら、眠るのよりラクかもしれない。

こなこ はいはい。

お母さん 生きてるだけで、死にたくなるわ。

こなこ こらいら。

お母さん 嘘よ。冗談よ。

こなこ 他にはなんかやりたいことないの？寝たり死んだりする以外に。

お母さん ん？旅行？

こなこ ほんとに？適当言ってるでしょ？

お母さん ほんとよ。マジよ。

こなこ どこ行きたいの？

お母さん ん？温泉？

こなこ ほんとに？適当言ってるない？

お母さん ほんとだつてば、草津温泉。こなこ二人でね。

こなこ お母さんと旅行なんてしたことあつたっけ？

お母さん 離婚する前はあつたんじやない？家族で。

こなこ うん。お母さんと二人か……

お母さん なによ、嫌なの？

こなこ 嫌じゃない嫌じゃない、行こう。おごるおごる。

お母さん よし。じゃあお母さんそれを楽しみに、病氣と闘うわ。

こなこ ほんとかな？

お母さん ほんとよ。マジよ。

音楽。重く垂れ込めたシンセサイザーの音。

THE LAST TRAVEL

こなこ

心は空より広い 体の器飛び出し

わからない何処か遠く 膨らみ 膨らみ いつしか弾けた

お母さん

心は部屋より狭い 内臓よりも小さい

だんだん見えないくらい 萎んで 萎んで いつしか消えてた

草津温泉のとある露天風呂(砂場)。こなことお母さん、入っている。

お母さん あゝ気持ちいいー！やっぱり、温泉は、草津よ！

こなこ 桜が見えるー。

お母さん 満開ねー。

こなこ お湯に花びらが浮いて、最高ですなー。

お母さん 天国って草津のことだったのね！？こなこ、お母さん死ぬ前に天国来ちゃった。

こなこ 天国が草津だったら、やっぱり地獄より天国行きたいね。

お母さん あたしは無理。死んだら地獄行きよ。

こなこ なんでよ。お母さん正直者だし、絶対天国行ける。

お母さん 無理よー。あたしなんて、バカだし、淫乱だし。

こなこ こんなことないでしょが。

お母さん だつてさー、色々恨まれてるよ、きつと。

こなこ 大丈夫。あたしは恨んでない。

お母さん こなこー。
こなこー 背中でも流しましょうか？お母さん。
お母さん 泣けるー。

湯船を出て、こなこ、お母さんの背中を流す。

お母さん お婆さんの背中でしょう？
こなこ そんなことないけど、ちよつと、痩せたかな。
お母さん もう、干物よ。人間って生きながらにして干物になんのよ。
こなこ シミも少ないし、綺麗な背中だよ。
お母さん シワシワでしょ。
こなこ そんなことないよ。お母さーん。

こなこ、お母さんの背中に抱きつく。

お母さん おー、こなこのおっぱい、張りがある！
こなこ えーもう垂れはじめてるよ。
お母さん いや、まだイケる！こなこ、まだまだイケる！
こなこ あははー。

お母さん・こなこ

二人で一つの 心かもしれない
あなたの涙は あたしの悲しみ
あなたの笑顔へ ザ・ラストトラベル！

二人、草津の温泉で記念撮影ポーズ。

別の日。午後の病院。こなこ、お母さんが座る車椅子を押している。

こなこ お母さん、調子はどう？

お母さん 三択です。A良くなってる、B変わらない、C悪くなってる。

こなこ なによそれ。A、Aであって欲しい。

お母さん 答えは、BとCの間です。

こなこ あらー。

お母さん 疲れんよ、入院つて。病気が辛いつていうより、病院が辛い。

こなこ そうか。先生とは仲良くなった？

お母さん ちよつとね。あのインテリ、意外とかわいいとこあんのよ。

こなこ 良かったじゃない。

お母さん まあ、お医者様つて言つても、こなこと同じくらいの歳でしょ。あたしにしてみりゃ子供みたいなものよ。

こなこ そうね。

お母さん こなこ、あのさ、旅行行こうつて言つてたでしょ。

こなこ うん。

お母さん あたしやつぱり外国行つてみたい。

こなこ えーどこよ？

お母さん フランス、パリよ。

こなこ えーなんで？

お母さん なんてって、花の都だからよ。

こなこ お母さん、パリなんか興味あつたっけ？

お母さん まあ、別にどこでもいいんだけど、外国、生きてる間に一度くらい行ってみたいでしょ。

こなこ そうか、そうね。パスポート取ったりしなきゃね。

お母さん よし。じゃあお母さんそれを楽しみに、病氣と闘うわ。

こなこ ほんとかな？

お母さん ほんとよ。マジよ。

フランス。パリの街を歩く、こなことお母さん。

お母さん 日差し強つ。パリも夏は暑いわ。

こなこ 風が気持ちいいじゃない、日本みたいにジメジメしてないし。

お母さん ますます干物になりそうよ。

こなこ (ジャングルジムを指し) あつ、お母さん、見て見て、エッフェル塔！

お母さん へー、意外と小さいのね。

こなこ できたの100年以上前だからね。

お母さん お母さん、東京タワーの方が好き。

こなこ せつかく来てるんだからそういうこと言わないの。

お母さん すいませんでした。

こなこ お母さん、登ってみよう。

お母さん はい。

二人、ジャングルジムを登る。

こなこ まー、美しい街並！

お母さん やっぱり上から見ると高いわね、人も豆粒みたい。豆粒みたくても、みんなスタイルいいのわかるわー。

こなこ フランスの人つてモデルさんみたいだもんね。

お母さん お母さん一つ後悔があるとしたら、外人と恋してみたかった。

こなこ へー、そうなの。

お母さん こなこはいないの、いい人？

こなこ んー。もう結婚はいいかなくなって思ってる。

お母さん そうね、結婚なんてどうだっていいのよ。

こなこ 孫の顔、お母さんに見せれなかったのは申し訳ないけど。

お母さん いいのいいの。そりゃ孫はかわいいだろうけど、結局ね、自分の子供が一番かわいいんだから。こなこが一番かわいいの。

こなこ お母さん。

お母さん でもこなこ、恋愛はした方がいいわよ。しないとすぐ老けるからね。こなこ あははー。

お母さん・こなこ

二人で一つの 心かもしれない

あなたの涙は あなたの悲しみ

あなたの笑顔へ ザ・ラストトラベル！

一人、エッフェル塔で記念撮影ポーズ。

別の日。午後の病院。こなこ、お母さんが座る車椅子を押している。

こなこ お母さん、調子はどう？

お母さん 一択です。悪くなってる。

こなこ ……

お母さん こなこ、普通に元気って、凄いいことよ。

こなこ そうね。先生とは上手くやってる？

お母さん もうね、あの人、神。今のあたしにとって、神。

こなこ そう。

お母さん こなこ、あたし考えてみたんだけど、旅行、やっぱり外国は無理な気がするの。

こなこ じゃあ、国内にする？

お母さん うん。

こなこ どこがいい？

お母さん ン、富士急ハイランド。

こなこ え、お母さん怖い乗り物苦手じゃなかったっけ？

お母さん うん。でも、一回きりの人生、苦手を克服したい。

こなこ ほんとかな？

お母さん ほんとよ。マジよ。

富士急ハイランド。ジェットコースター(滑り台)に乗っている、こなことお母さん。滑り台の階段をゆつくり上っている。

お母さん ちよ、ちよつと、た、高くない？た、高くない？

こなこ まだまだ上がるよ。

お母さん こんな上がって、一気に下りたら、ゾゾゾ、お母さん死んじゃう……

こなこ へーきへーき。おつ、山々が紅葉してますなー。

お母さん ふ、ふ、ふ、富士山も見えてきた……ガクブル……ガクブル……こなこ、

こなこ ン、なに？

お母さん なんか、急に、思い出したけど、ユキユキくん、元気かしら……

こなこ ン？

お母さん ほら、こなこが、初めて、恋人っぽくなった、男の子……

こなこ あーユキユキ、懐かしいー！どうしたの急に？

お母さん わ、わかんないけど、なんか、急に……

こなこ 元気かしら？ユキユキとは、キスもしなかったなあ……

お母さん 奥手ね……

こなこ 中学生だもん。

お母さん あ、あ、ダメ、あ、もう、あ……

一人、滑り台を滑る。

お母さん・こなこ ○△□○△□○△□~~~~~!!

お母さん・こなこ

二人で一つの 心かもしれない

あなたの涙は あなたの悲しみ

あなたの笑顔へ ザ・ラストトラベル！

二人、ジェットコースターで記念撮影ポーズ。

別の日。午後の病院。こなこ、お母さんが座る車椅子を押している。

こなこ お母さん、調子はどう？

お母さん こなこ、病人に、調子なんて聞かないで。

こなこ ごめん。

お母さん お母さん、夜、病室の窓から星見てるんだけど、宇宙に行きたい。

こなこ え、旅行の話？

お母さん うん。宇宙旅行。

こなこ 富士急、イランドは？

お母さん うん、別に、行きたくない。

こなこ そうか。宇宙って、どうやったら行けるのかしら？

お母さん ロケット？

こなこ じゃあ、手配しなくちゃ。

お母さん なんなら、お墓も宇宙がいい。

こなこ うん、わかった。

お母さん こなこ。

こなこ くん？

お母さん ほんとよ。マジよ。

間奏。重く垂れ込めたシンセサイザーの音。

こなこ

心は部屋より狭い 内臓よりも小さい

だんだん見えなくらい 萎んで 萎んで いつしか消えてた

お母さん

心は空より広い 体の器飛び出し

わからない何処か遠く 膨らみ 膨らみ いつしか弾けた

宇宙。ロケットに乗っている、こなことお母さん。(ブランコに二人乗り)

お母さん こなこ、ここはどこかしら？

こなこ キャプテン、もうすぐ木星です。

お母さん 地球見える？

こなこ 肉眼では見えません。

お母さん 寂しいような、清々したような、変な気持ちだわ。

こなこ あつ、木星の衛星、エウロパです。

お母さん なにそれ？

こなこ 氷の星です。

お母さん 寒いのか？

こなこ はい、一年中。

お母さん それもいいわね。四季って、情緒乱れんのよ。ねえ、こなこ。

こなこ はい、キャプテン。

お母さん お母さん、ブラックホールに吸い込まれたい。

こなこ はい？

お母さん 昔さ、家にゴキブリ出て、もうお父さんとも別れた後だったから、二人で怖くてぎゃーぎゃー騒いだの、覚えてる？

こなこ 覚えていません。

お母さん 退治もできないし、掃除機でさ、生きたまま吸い取ったじゃない。

こなこ ああ、なんか思い出してきた……

お母さん 後で掃除機開いたら、ゴキブリ死んでたでしょ。

こなこ ああ、あつたあつた。

お母さん あのゴキブリさんにね、なんだか悪いことしちゃったなって、最近思うのよ。こなこ そうか。

お母さん だからあたしも、あのゴキブリさんと同じ目にあつて死にたいの。こなこ わかりました。キャプテン、では銀河の彼方へワープします！

お母さん いぎ、ブラックホール！

二人、ブランコを大きく漕ぐ。

お母さん・こなこ

二人で一つの 心かもしれない

あなたの涙は あたしの悲しみ

あなたの笑顔へ ザ・ラストトラベル！

二人、ロケットで記念撮影ポーズ。

ロケットを出て宇宙遊泳を始める、こなことお母さん。

お母さん・こなこ

ロケットに乗って もしくは夜汽車に乗って

無理ならば リズムに乗って 旅立とう 銀河の彼方へ

喜びも捨てて 悲しみも全部捨てて

思い出も 荷物も捨てて 旅立とう あなたの笑顔へ

二人で生きた アパートの電気消して

玄関も まぶたも閉じて 旅立とう 銀河の彼方へ

何もなくなつて 人生の意味もなくなつて

言葉も 心もなくなつて 旅立とう あなたの笑顔へ

あなたの笑顔へ 銀河の彼方へ あなたの笑顔へ

お母さん、宇宙を漂っている。こなこ、公園のベンチに座り、手を合わせる。

小さな公園全体がうっすらと明るくなる。深夜。その続きの続きの続き。

ユキユキ、砂場で砂遊びをしている。こなこ、ベンチに座ってそれを見ている。

溶暗

こなこ ねえ、ユキユキ。
ユキユキ なあに、こなこ。

こなこ なに作ってんの？

ユキユキ なに作ってこともないけど、穴、掘ってる。こなこもやってみる？

こなこ 手、汚れちゃう。

ユキユキ 別にいいしよ。爪の間に、砂、入れようぜ。

こなこ 腕 白 小僧

こなこも砂遊びを始める。

こなこ わー、砂冷たい。

ユキユキ 手、ジンジンしてくるよ。

こなこ あたしも穴掘ろう。

二人、穴を掘っている。

こなこ・ユキユキ あっ!?

穴が繋がり、二人の指先が触れる。

こなこ ユキユキモグラさん。

ユキユキ こなこモグラさん。

こなこ モグラ・キーツス……

穴の中で、指先がキス。

音楽。歪んだ電子音が、パイプオルガンのように鳴り響く。

銀世界紀行 Pt.4

こなこ モグラ・ドリル・キス……

ユキユキ デイ、デープつてこと!?

こなこ モグラの、ベロと、ベロが……

ユキユキ ベロ ベロ……

こなこ モグラの、ツバと、ツバが……

ユキユキ ミックス ブレンド……

二人、抱き合う。砂場に雪が降り始める。

こなこ ユキユキ、雪よ!

ユキユキ こなこ、雪だ!

こなこ 祝福の雪よ!

ユキユキ もつと降りやがれ!もつと降りやがれ!

こなこ アイスな銀世界!

ユキユキ こなこ、(砂場を示し)ここがベッドだよ。アザラシの毛皮が敷布団さ。

こなこ ベッドは、ひとつ?!

ユキユキ え、うん……
こなこ いやん、エッチー……

二人、寄り添う。

ユキユキ 静かだね……
こなこ 雪は静かに降っております……
ユキユキ タロとジロは、眠っています……
こなこ ねえ、聴こえるよ、タロとジロの寝息……
ユキユキ ほんとだ……

外には、タロとジロ。

ジロ なあタロ、寒くて眠れやしねえな。

タロ ああジロ。犬は寒さに強いつて決めつけねえでもらいてえ。

ジロ ご主人たちは、どうした？

タロ 家の中さ。家の中のベッドの上さ。

ジロ 交尾か。

タロ 若い二人は夢中なのさ。

ジロ ご主人たち、チエリーとバージンだったもんな。

タロ ハマっちまうのも、無理もねえ。

ジロ タロは初めてのセックスの相手、覚えているかい？

タロ 忘れたよ。犬種も覚えちゃいねえ。ジロは覚えているのかい？

ジロ 忘れたね。オレたちや、獣なのさ。

タロ ご主人たち、子供できるかもしれないねえな。

ジロ 子だくさんだったら、楽しそうだな。

ベッドで寄り添う、ユキユキとこなこ。

ユキユキ

あー 忘れたくないよ

朝も 昼も 夜も 春も 夏も 秋も 冬も

こなこ

あー 忘れたくないな

しわくちやな老婆さんになっても

ユキユキ・こなこ

悴む 手の 指先

身体から 離れてく

何処まで行くの？

あなたの心へ

何処までも 白い 地面

何処までも 黒い 空

銀世界紀行

宇宙の果てまで

シヤンシヤンシヤン……
Ah……(二人、砂場で抱き合う)

音楽終了。

ある日の午後。暗い部屋。ユキユキ、ベッド(砂場)で寝ている。語り部、少し離れて部屋を見ている。

語り部 昔々あるところに、あるところというのは、都会のワンルームマンションに、男が住んでいました。男は40代中頃、もうお昼も過ぎたというのに寝ています。部屋は真つ暗です。先日ネットで注文した遮光カーテンが思いのほか高性能だったからです。それでも、カーテンのほんの隙間から射し込む日の光に顔をくすぐられて、男は目を覚ましました。

ユキユキ、目を覚ます。

語り部 男はベッドの上で、呆然としています。二日酔いでしょうか？気怠い呻き声を発しています。

ユキユキ、気怠い呻き声を発している。

語り部 男はゆっくり起き上がると、冷蔵庫まで歩きはじめました。すぐそばの冷蔵庫なのに、まるで険しい山道を進むように重い足取りです。起きてまず、水でも飲むのでしょうか？ヨーグルトドリンクでしょうか？オレンジジュースでしょうか？缶ビールでした。

ユキユキ、冷蔵庫を開けて缶ビールを取り出す。いつの間にか音楽が流れている。穏やかなブルースだ。

ユキユキ、缶ビールを一気に飲む。嗚咽のような、ゲップのような音を発する。

語り部 男は服を脱ぎはじめました。シャワーを浴びるようです。暗い部屋の中、一物を揺らしながら風呂場へ向かいます。風呂場の電気をつけると、男はとても眩しそうです。蛇口をひねって、シャワーを浴びます。時折、奇妙な唸り声が風呂場に響いています。

ユキユキ、唸っている。

語り部 これは内緒ですが、男はシャワーを浴びながら、ついでおしっこもしたようです。排水口に黄色い尿が混じり、異臭が立ち込めます。風呂から上がると、男は頭を拭いて、体を拭きます。丁寧に、隅々まで拭きます。冷蔵庫を開けると、2本目のビールを取り出します。ビールを飲みながら、まだ体を拭いています。パンツを履いて、頭を拭きます。ラジコを付けます。政治のニュースが流れています。ビールを飲んで、頭を拭いて、ビールを飲んで、シャツを着て、政治のニュースが流れています。3本目のビールを取り出し、飲んで、また頭を拭いて、スポンを履いて、飲んで、経済のニュースが流れています。飲んで、ジャケットを着て、飲み干して、男はそろそろ家を出ようです。外は、もう日暮れです。ラジコを切つて、靴を履き、行つてらっしゃい。男の名前はユキユキ。それでは歌つて頂きましょう。ユキユキで Japanese Syllabary Blues……

ユキユキ、家を出る。

Japanese Syllabary Blues

ユキユキ・語り部、コーラスへ

あいうえお かきくけこ さしすせそ たちつと

なにぬねのはひふへほ まみむめも

や ゆよ らりるれるろ わ を

ん

五十音言えたぜ 俺、酔ってない俺酔ってないぜ そうさ Baby

五十音言えたぜ 俺、酔ってない俺酔ってないぜ そうさ Baby

繁華街を歩くユキユキ。

語り部 ユキユキは、繁華街を歩きます。空は暗くなり、ネオンが灯ります。道の端を、ユキユキは俯きがちに歩きます。俯きながら覗き見るように、若い女の子の目を追います。気持ち悪いですね。ユキユキはコンビニで、缶ビールを買います。本日4本目です。歩きながら飲みます。夜になり寒くなってきました。冷たいビールを飲んで、すっかり冷えてしまいました。ユキユキは裏通りを歩きます。缶ビールは飲み干しました。ふと、一軒のスナックに目が止まります。ユキユキは入ってみることにしました。

ユキユキ、スナックに入る。スナックのママがいる。

スナックのママ いらつしやいませ。

ユキユキ ○△……

スナックのママ 初めましてかな？

ユキユキ ○△□○△……

スナックのママ ママです。

ユキユキ ○△……

スナックのママ お客さん、なに？もう酔ってんの？

ユキユキ ○△□○△□○△……

スナックのママ うんうん、さつき起きて、家と道で、飲んだ。ちよつとー、お客さんアル中？

ご飯は食べたの？

ユキユキ ○△……

スナックのママ 食べなきゃ、今なんかぱと作って出してあげる。

ユキユキ ○△□○△□○……

スナックのママ え？その前に、酒くれ？はいはい。焼酎水割りでいいわね。

スナックのママ、水割りを作りユキユキに渡す。ユキユキ、飲んでる。スナックのママ、料理を始める。

ユキユキ ○△□○△□……

スナックのママ え、そうね。まだ時間早いからね。まあ、いつも空いてんだけど(笑う)。好き嫌いありますか？

ユキユキ ○△□……

スナックのママ 特になしと。もう夜だけど、お客さんにとっては朝ご飯だからね、あっさりにしとこらね。

ユキユキ ○△□○△□○△□……
スナックのママ え？なにになに？もー、なに言っただかわかんないよ。(笑う)

ユキユキ ○△□○△□○△□……
スナックのママ え？ん、あ、りがと、う？

ユキユキ ○△□……

スナックのママ はいはい、どういたしまして。はい、胡瓜とワカメの酢の物。

ユキユキ ○△□……

スナックのママ これは昨日の残り物だけど、里芋の煮ところがしね。インゲンと鶏皮がポイントです。

ユキユキ ○△□……○△□○……
スナックのママ あ、はいはい、お酒ね。

スナックのママ、水割りを作る。

スナックのママ ちよつとお腹に溜まるのね。へ。ペロンチーノ、作ってます。塩加減は……味見三回まで。うん、バッチグー。はいどうぞ。

ユキユキ ○△□○△□……

スナックのママ お腹空いてんじゃない、ちゃんと食べなきゃ。

ユキユキ ○△□○……

スナックのママ あ、はいはい、お酒ね。

スナックのママ、水割りを作る。

スナックのママ お客さん、お仕事は？

ユキユキ ○△□……

スナックのママ と、うし、か？胡散臭い(笑う)。昼まで寝て、いーご身分ですね。

ユキユキ ○△□……

スナックのママ 独身？

ユキユキ ○△□○△□○△□……

スナックのママ え、逃げ、られた。あちゃー、なんで？

ユキユキ ○△□○△□○△□……

スナックのママ え？ん、理由は、三文字？

ユキユキ ○△□……

スナックのママ えーと、女？お酒？博打？

ユキユキ ○……

スナックのママ なにこの簡単なクイズー(笑う)。お子さんは？

ユキユキ ○△□○△□○△□……

スナックのママ そう。寂しいわね。

ユキユキ ○△□○△□……

スナックのママ あ、はいはい、お酒ね。お酒出すのが仕事だからねー。(笑う)

スナックのママ、水割りを作る。ユキユキ、料理を食べ終える。

ユキユキ ○△□○△□○△□……

スナックのママ え？ごち、そ、うさま。はいはい、なんかおつまみ作る？

ユキユキ ○△□○△□○△□……

スナックのママ お酒が、あれば、十分。はいはい、お酒ね。

スナックのママ、水割りを作りユキユキに渡す。スナックのママ、空いた皿を下げる。ユキユキ、飲んでる。

スナックのママ 飲むわね。(笑う)

ユキユキ ……んま……んま……

スナックのママ ん？どうしたの？

ユキユキ ……んま……んま……

スナックのママ はいはい、ママでちゅよー、スナックの。(笑う)

ユキユキ ……んお……んお……

ママ え、なに？なに？

ユキユキ ……んお……んお……お酒。

スナックのママ あ、はいはい、お酒ね。

スナックのママ、水割りを作る。ユキユキ、突っ伏して寝る。

スナックのママ あれ、寝た！？お客さん、さつき起きたばかりでしょ？

ユキユキ Zzz……

スナックのママ もう、困るわよー。

ユキユキ Zzz……

スナックのママ まあ、いつか。どうせ空いてるし。

ユキユキ Zzz……

スナックのママ お昼寝でちゅか？(笑う)坊や、お昼寝でちゅか？…

間奏。スナックのママのブルースハープ。ユキユキ、眠っている。

ユキユキ、目を覚ます。

スナックのママ あ、起きまちたか？(笑う)

ユキユキ ○△……

スナックのママ お客さん、三時間くらい寝てたよ。

ユキユキ ○△□○△□……

スナックのママ いーのいーの、寝小便しないでください。(笑う)

ユキユキ ○△□○△□……

スナックのママ お客さん？数名来たけどもう帰りました。

ユキユキ ○△□○△□○……

スナックのママ あ、はいはい、お酒ね。薄めにしとく？

ユキユキ ○△□○△□○……

スナックのママ はいはい、濃いめね。(笑う)

スナックのママ、水割りを作る。ユキユキ、スナックのママを見ている。

スナックのママ ん？どしたの？

ユキユキ ○△□……

スナックのママ (お酒を)はい、どうぞ。

ユキユキ ○△……

スナックのママ かつばえびせん、食べる？

ユキユキ ○△……

二人、かつぱえびせんをつまむ。スナックのママ、笑っている。

ユキユキ ○△……

スナックのママん？

ユキユキ ○△□○△□○△□……

スナックのママ え？初恋の相手？似てる？

ユキユキ ○△……

スナックのママ あたしが？

ユキユキ ○△……

スナックのママ お客さんの？

ユキユキ ○△……

スナックのママ 口説いてんの？

ユキユキ ○△□○△□○△□……

スナックのママ もー口説きの手法が古い。(笑う)

ユキユキ ○△□○△□○……

スナックのママ あ、はいはい、お酒ね。

スナックのママ、水割りを作る。

スナックのママ お客さんさ、あたしが言うのもなんだけど、ほんと、お酒気をつけてね。

ユキユキ ○△□○△……

スナックのママ じゃあ、うちだけ。飲むのはこのお店だけ。約束よ。(笑う)

ユキユキ ○△□○△□○……

スナックのママ あ、はいはい、お酒ね。

スナックのママ、水割りを作る。

ユキユキ・スナックのママ、コーラス

あいうえお かきくけこ さしすせそ たちつてと

なにぬねの はひふへほ まみむめも

や ゆ よ らりるれろ わ を

ん

五十音言えたぜ 俺、酔ってない 俺酔ってないぜ そうさ Baby

五十音言えたぜ 俺、酔ってない 俺酔ってないぜ そうさ Baby

ユキユキ

飲みたい

スナックのママ

飲みなさい

ユキユキ

飲みたい

スナックのママ

飲みなさい

ユキユキ

飲みたい
スナックのママ
飲みなさい
ユキユキ
飲みたいののの飲みたい！

飲みたい
スナックのママ
飲みなさい
ユキユキ
飲みたい
スナックのママ
飲みなさい
ユキユキ
飲みたい
スナックのママ
飲みなさい
ユキユキ
飲みたいののの飲みたい！

飲みたい
スナックのママ
飲みなさい
ユキユキ
飲みたい
スナックのママ
飲みなさい
ユキユキ
飲みたい
スナックのママ
飲みなさい
ユキユキ
飲みたいののののの！の！の！の！

飲みたい！
スナックのママ
飲みなさい
ユキユキ
飲みたい！
スナックのママ
飲みなさい
ユキユキ
飲みたい！
スナックのママ
飲みなさい
ユキユキ
飲みたい……

音楽中断。スナックを出るユキユキ。スナックのママ、店先でお見送り。

スナックのママ 家近いの？

ユキユキ ○△……

スナックのママ 足元ふらふらよ。タクシー呼ばないで平気？

ユキユキ ○△……

スナックのママ またのお越しをお待ちしております。(笑う)

ユキユキ ○△……

スナックのママ、突然ユキユキに抱きつきキスをする。音楽再開。

ユキユキ ○△……

スナックのママ 寒くなってきたから、風邪引かないでね。

ユキユキ ○△……

ユキユキ、ふらふらと歩き出す。スナックのママ、見送っている。

ユキユキ・スナックのママ、コーラスへ

あいうえお かきくけこ さしすせそ たちつてと

なにぬねの はひふへほ まみむめも

や ゆ よ らりるれろ わ を

ん

五十音言えたぜ 俺、酔ってない 俺酔ってないぜ そうさ Baby

五十音言えたぜ 俺、酔ってない 俺酔ってないぜ そうさ Baby

ユキユキ、ふらふらと歩きながら公園に辿り着く。スナックのママ、店の片付けをしている。

ユキユキ、公園内をふらふらと歩いている。スナックのママ、店の片付けをしている。

ユキユキ、ふらふらと滑り台の階段を上る。スナックのママ、店の片付けをしている。

ユキユキ、滑り台の上で缶コーヒートの空き缶を見つめる。空き缶を滑り台の滑走面に転がす。スナックのママ、店の片付けをしている。

ユキユキ・スナックのママ、コーラスへ

あいうえお かきくけこ さしすせそ たちつてと

なにぬねの はひふへほ まみむめも

や ゆ よ らりるれろ わ を

ん

ユキユキ、歌いながらネクタイを外し、片方の端を滑り台の上の柵に結び付ける。もう片方を自分の首に巻き付け、滑り台を滑る。スナックのママ、店の片付けをしている。

ユキユキ ○△□○△□□○△□□○△□□○△□□○△□□○△□□○△□□……

スナックのママ、コーラスへ

五十音言えたぜ 俺、酔ってない 俺酔ってないぜ そうや Baby

五十音言えたぜ 俺、酔ってない 俺酔ってないぜ そうや Baby

ユキユキ、滑り台の途中で息絶える。スナックのママ、店の片付けをしている。

音楽終了。

溶暗

音楽、流れている。こなご、砂場のベッドで陣痛。ユキユキ、心配そうに傍にいる。

こなご ○△□○△□○△□〽〽〽〽!!

ユキユキ こなご、頑張れ!頑張れ!

こなご 頑張ってる!もう、頑張ってる!○△□○△□○△□〽〽〽〽!!

ユキユキ どうしたらいいんだ!?オレは、どうしたらいいんだ!?

こなご ユキユキ、あたし、酷い顔になってない?(酷い顔で)○△□○△□○△□〽〽〽〽
)!!!

ユキユキ こなご、綺麗だ!!

こなご ○△□○△□○△□〽〽〽〽!!出てきそおお!!出てきそおお!

ユキユキ おー!ー、頭だあああ!?

こなご 引っ張って!ユキユキ、引っ張って!

ユキユキ (凄い気合い)おっしやあああ!!いち、にの、さんで引っ張る!いち……

こなご ○△□○△□○△□〽〽〽〽!!

ユキユキ にの……

こなご ○△□○△□○△□〽〽〽〽!!

ユキユキ おっしやあああ!!

こなご ○△□○△□○△□〽〽〽〽!!

ユキユキ もう一回!いち……

こなご ○△□○△□○△□〽〽〽〽!!

ユキユキ にの……

こなご ○△□○△□○△□〽〽〽〽!!

ユキユキ おっしやあああ!!

こなご ○△□○△□○△□〽〽〽〽!!

産声。

こなご・ユキユキ う、う、う、生まれたー!ー!!

二人、抱き合う。滑り台に、ジャンゲルジムに、ブランコに、砂場に、雪が降り始める。

こなご ユキユキ、雪よ!

ユキユキ こなご、雪だ!

こなご 祝福の雪よ!

ユキユキ もつと降りやがれ!もつと降りやがれ!

こなご アイスな銀世界!

ユキユキ こなこ、犬橋に乗って狩りに出ようぜ！今夜はアザラシのシチューだ！
こなこ うん！
ユキユキ 赤ちゃんも連れて行こう！
こなこ うん！

二人、滑り台の階段を上る。

ユキユキ タロ！ジロ！頼んだぞ！こなこ、しっかり掴まれよ。
こなこ きゃん。
ユキユキ 走れ、タロ！ジロ！（鞭を打つ動作）

銀世界紀行 Pt.5

こなこ

あー離れたくないな

朝も 昼も 夜も 春も 夏も 秋も 冬も

ユキユキ

あー離れたくないよ

しわくちやなお爺さんになっても

こなこ・ユキユキ

悴む 手の 指先

身体から 離れてく

何処まで行くの？

あなたの心へ

何処までも 白い 地面

何処までも 黒い 空

銀世界紀行

宇宙の果てまで

シヤン シヤン シヤン……

Ah……（二人、滑り台を滑る）

音楽終了。

こなこ じゃあ、帰ろうか。

ユキユキ そうだね。

こなこ そろそろお母さん帰って来るかもしれないし。

ユキユキ 放任主義のうちのオカンも、さすがに心配してる。

こなこ また明日ね。

ユキユキ うん。また明日。こなこ、おやすみ。

こなこ ユキユキ、おやすみ。

ユキユキ バイバイ。

こなこ バイバイ。ユキユキ、おやすみ。

ユキユキ こなこ、おやすみ。

こなこ バイバイ。

ユキユキ バイバイ。

二人、何度も振り返っては言葉を交わし、離れて行く。

ユキユキ こなこ。

こなこ ユキユキ。

溶暗

ある日の公園。よく晴れた午前中。お母さんとママの後ろ姿。お母さんは幼いこなこが遊んでいるのを、ママは幼いユキユキが遊んでいるのを、見守っている様子。

ママ あったかいですね。

お母さん そうですね。この公園よく来るんですか？

ママ はい。たまに。

お母さん そうですか。

お母さん、こなこの危険な行動に気づき。

お母さん こなこ、それ食べちゃダメ！そのお団子、土でしょ。

ママ あはは、女の子、かわいいなあ。

ママ、ユキユキの危険な行動に気づき。

ママ ユキユキ、危ない！走るときは前見なさい。

お母さん ケラケラ、男の子は腕白ねえ。いくつなんですか？

ママ 3歳です。

お母さん あら、うちと同じ。幼稚園はどちら？

ママ 2丁目の方です。

お母さん あらそう。うちはすぐこの保育園。

ママ そうですか。小学校一緒かもしれませんね。

お母さん そうですね。

ママ ユキユキ、そろそろ帰る？あー、ズボン泥だらけ。

お母さん こなこ、お腹すいたでしょう？土じゃない、本当のご飯食べよう。

ママ それじゃあ、お先に失礼します。

お母さん はい、さようなら。(ユキユキに)ぼく、バイバイ。

ママ (こなこに)お嬢ちゃん、バイバイね。

完